

平成18年度 生活習慣病予防のための  
健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修会

## 健診・保健指導のデータ管理と評価

群馬大学医学部附属病院医療情報部  
酒巻哲夫

# 平成14～17年のDPCデータ(毎年7月-10月)

## 入院総件数2,266,951件の集計: 上位39件で総入院数の50% <登録された病名は全体で600弱>

	DPC分類: 左6桁コードに該当する疾患	件数
1	狭心症、慢性虚血性心疾患	93761
2	肺の悪性腫瘍	65754
3	白内障、水晶体の疾患	64276
4	肝・肝内胆管の悪性腫瘍	57107
5	肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎	52817
6	脳梗塞	50150
7	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	42318
8	胃の悪性腫瘍	41916
9	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	39462
10	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)	34619
11	前立腺の悪性腫瘍	34291
12	卵巣の良性腫瘍	28749
13	乳房の悪性腫瘍	27024
14	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	25246
15	卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	25242
16	喘息	25200
17	鼠径ヘルニア	24074
18	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)	21939
19	心不全	21344

20	胎児及び羊膜腔に関連する母体ケア	20941
21	その他の異常所見	20683
22	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	20497
23	非ホジキンリンパ腫	19976
24	ヘルニアの記載のない腸閉塞	19768
25	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	19730
26	膀胱腫瘍	19293
27	頻脈性不整脈	18319
28	脳腫瘍	18284
29	頭部・顔面外傷	17886
30	子宮の良性腫瘍	17400
31	ウイルス性腸炎	17184
32	周産期に発生した新生児の障害	16450
33	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	16362
34	敗血症その他の感染症	16344
35	詳細不明の損傷等	16169
36	分娩の合併症、産科手術を伴う異常分娩	15934
37	食道の悪性腫瘍(頸部を含む)	15574
38	急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞	15496
39	睡眠時無呼吸	15275

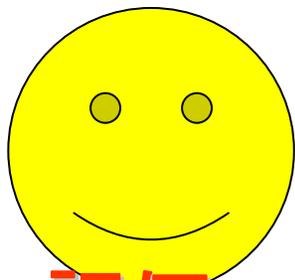
1回の入院には、ひとつの病名(最も医療資源を要した病名)が決められ、請求に用いられる

# 標準的な健診・保健指導の在り方に関する検討会(H18.2.15)資料抜粋

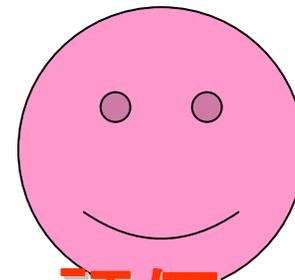
メタボリック シンドローム を中心的課 題として	これまで	⇒	これから (平成20年～)
健診・保健 指導	健診に付加した保健指導		予防のための保健指導を必要とするものを抽出するための健診
特徴	プロセス重視の保健指導		結果を出す保健指導
目的	個別疾患の早期発見・早期治療		早期介入・行動変容
内容	健診結果の伝達、理想的な生活習慣に係る一般的な情報提供		自己の状態を把握した上で、改善すべきことを自己選択し行動変容を促進
保健指導の 対象者	健診結果で「要指導」と指摘され、健康教育等の保険事業に参加したもの		健診受診者全員に対し、必要に応じ、階層化された保健指導を提供
方法	一時点の健診結果のみに基づく保健指導、画一的な指導		健診結果の経年変化、将来予測を踏まえた保健指導
評価	回数や参加人数		糖尿病等の患者・予備群の25%減少
実施主体	市町村		保険者

- **身体計測・検査・問診を行う**
- **データからメタボリックシンドロームと支援の必要度を判定する**
- **保健指導を実施する**
- **健診データと保健指導のデータを管理する**
- **施設間、保険者間でデータを移動させる**
- **事業全体を企画し、統括する**
- **事業を評価する**

# 国・都道府県



評価

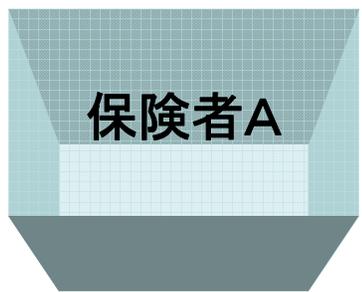


評価

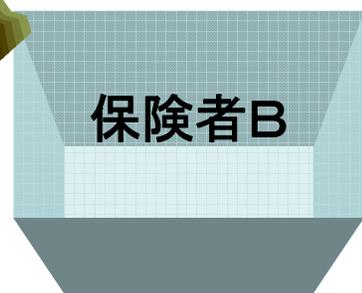
実施状況報告



転職



保険者A



保険者B



データ



保健指導



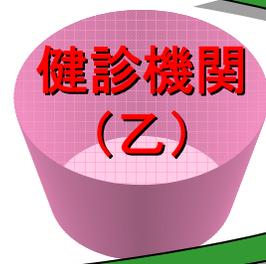
保健指導



データ



健診機関  
(甲)



健診機関  
(乙)

アウトソーシング

効果的保健指導プログラム開発、人材育成、人材派遣

# メタボリックシンドローム 支援判断ロジック(診断ではない)

- 身体計測: 身長、体重、腹囲、血圧
- 標準的な検査項目  
中性脂肪、HDL-C、LDL-C、AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、  
sCreat、血糖、HbA1c、尿酸
- 問診: 標準的問診項目(生活習慣など、18項目)
- ★ 判定 (ちょっと複雑なロジックで3つのグループに分類)
  - 情報提供 (特に問題なく、検診データをフィードバック)
  - 動機付け支援 (年に1-2回、集団への支援)
  - 積極的支援 (3-6ヶ月、個別などへの積極的支援)

## ステップ1

腹囲とBMIで内蔵脂肪蓄積のリスクを判定する



## ステップ2

検査結果、質問より追加リスクをカウントする。



## ステップ3

ステップ1、2から保健指導レベルをグループ分け



## ステップ4

質問票を用い、生活習慣改善の必要性を判定

		ステップ3でのレベル区分		
		情報提供 レベル	動機付け支 援レベル	積極的支 援レベル
ステップ4 質問項目 の合計点	3点		積極的	支援
	2点	情報	動機付け	支援
	1点		支援	
	0点	提供		

A) ステップ1. 貴方は 次の (1) (2) (3) のどれに該当しますか

○腹囲（ベルト周り）とBMIで内蔵脂肪蓄積のリスクを判定する	
・腹囲 男：85cm以上、女：90cm以上 の場合	→ (1)
・腹囲 男：85cm未満、女：90cm未満 身長と体重からBMIを計算し、25以上 の場合	→ (2)
・(1)、(2)以外	→ (3)
注) BMI=体重(Kg)を身長(m)の二乗で割る 例 $64\text{kg} \div (1.6\text{m})^2 = 25$	

**B) ステップ2. 貴方は次のリスク幾つ持っていますか**

(具体的な数字が判らなくても、健康診断のときの指摘事項を思い出して、推測してリスクを数えてください)

検査結果および質問表から追加リスクをカウントする	
① 血糖 a 空腹時血糖が 110mg/dl 以上 b 随時血糖が 140mg/dl 以上 c HbA1c が 5.5% 以上 d 糖尿病の薬剤治療を受けている	a、b、c、dの 何れかが該当 したら1つと 数える
② 脂質 a 中性脂肪が 150mg/dl 以上 b HDLコレステロールが 40mg/dl 未満 c コレステロールや中性脂肪の薬物治療を受けている	a、b、cの 何れかが該当 したら1つと 数える
③ 血圧 a 収縮期(上の血圧)が 130mmHg 以上 b 拡張期(下の血圧)が 85mmHg 以上 c 高血圧の薬物治療を受けている	a、b、cの 何れかが該当 したら1つと 数える
①②③のうち1つでも該当する場合、次の④⑤⑥の数も加える	
④ LDLコレステロールが 120mg/dl 以上 数字がわからない場合でも、健診でコレステロールが高いと言われている場合、あるいはコレステロールは正常だがHDL(善玉コレステロール)が低いと言われている場合、このLDLコレステロールが高いことが多いので、推測して答えてください。	
⑤ 煙草をすっている	
⑥ 血清尿酸(血液の尿酸検査)が 7.0mg/dl 以上 数字がわからない場合でも、健診で尿酸が高いと言われている場合には、該当すると推測して答えてください。	
①～③の合計は( )個 上記が1個以上の場合、④～⑥の合計( )個を加え 全体の個数( )を次のステップ3で判定に使う	

**C) ステップ3.** ステップ1、2から保健指導レベルのグループ分けをします。貴方は何所に該当しますか。

ステップ1が(1)に該当した場合

★ ステップ2の①～⑥のリスクの数が

2以上：内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）-----積極的支援レベル

0又は1：-----動機づけ支援レベル

ステップ1が(2)に該当した場合

★ ステップ2の①～⑥のリスクの数が

3以上：-----積極的支援レベル

1又は2：-----動機付け支援レベル

0：-----情報提供レベル

ステップ1が(3)に該当した場合

★ ステップ2の①～⑥のリスクの数が

4以上：-----積極的支援レベル

1から3：-----動機付け支援レベル

0：-----情報提供レベル

**D) ステップ4.** 質問票を用いて、生活習慣改善の必要性を判定し、健診結果の保健指導レベルと、質問結果の生活習慣改善の必要性との関係から、追加的に保健指導のレベルを決定します。貴方は次の質問事項で何点に該当しますか。

質問項目		判定
1. 20歳の時の体重から10kg以上増加している	はい      いいえ	「はい」に 1点
2. 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	はい      いいえ	全てが「いいえ」 の場合に 1点
3. 日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	はい      いいえ	
4. 同世代の同性と比較して歩く速度が速い	はい      いいえ	
5. タバコを吸っている	はい      いいえ	「はい」に 1点
合 計		(      ) 点

標準的問診項目は全体で18ある。

資料にある設問を、昼休みを利用して  
やっていただくよう、お願いしました

該当する人は手をあげてください

- ステップ1: (1)、(2)、(3)
- ステップ2: 1つ、2つ、3つ、4つ以上
- ステップ3: 情報提供レベル  
動機付けレベル  
積極的支援レベル
- ステップ4: 改善すべき生活習慣が  
0点、1点、2点、3点